

主なご意見（発言の一部を抜粋しております）【東地区 令和8年3月8日開催】

番号	要望・課題	内容	市民懇談会での回答	担当課	その後の対応 (令和8年4月末現在)
1	足高地区のコミュニティバスの運行について	足高地区にコミュニティバスのルートが無い場合、足高地区にもコミュニティバスを通るようにしてほしい。	コミュニティバスのルートは、利用状況やニーズを考慮して編成している。足高地区からご要望があることは承知しているが、ルート改正は5年に1回程度で進めており、すべての要望どおりにコミュニティバスを運行するのは難しい。コミュニティバスが運行していない地域は、デマンド乗合タクシーの活用を検討してもらえればと思っている。 コミュニティバスは、毎年開催している交通会議で検討している。その交通会議で、足高地区を通るルートが可能かどうかを協議していく。	都市計画課	地域公共交通会議において、要望の足高地区のルートについても協議をしていく。
2	牛久沼の清掃活動で集めたごみの収集について	牛久沼湖畔で毎年実施している清掃活動で回収したごみは、各家庭で保管し、後日、家庭ごみとして収集されている。龍ヶ崎市では、業者が収集してくれているため、つくばみらい市でも市の収集をお願いしたい。	牛久沼流域の清掃ボランティアや市内一斉清掃にご協力いただき感謝している。 回収したごみは、清掃活動後に集積所に出してもらっておりますが、集積所の広さや収集曜日等によって、その利用に支障をきたしご不便をかける場合などは、翌日以降に生活環境課まで連絡をいただければ、現地確認の上、回収をしていく。また、清掃活動中に回収できない粗大ごみなどに関しても、生活環境課まで連絡をお願いしたい。 清掃活動に参加してもらっているため、西谷田川流域全体のごみの収集方法については市で協議する。	生活環境課	令和9年3月の清掃活動に向け、西谷田川流域の実施地区における各行政区の代表者等と協議を行い、収集したごみの集積場所を設定した上で、清掃活動終了後に生活環境課職員が回収を行う形で調整を進める。
3	足高地区のコミュニティバスのルートの提案について	コミュニティバスはよく利用している。最近、みらい平駅から高校生の通学にも利用されており、朝は座席に座れないほどの人が利用している。現在のルートでは、さくらやまふれあいの丘から城中のコンビニエンスストアまでは、ほとんど利用者がいない。さくらやまふれあいの丘から足高を抜け、東栗山や城中を通るルートにした方が東地区全体で利用できるようなっている。コミュニティバスの交通会議では、そのあたりも加味してほしい。	現在のコミュニティバスのルートは、農道の区間が長い所もあるため、交通会議の中で検討していきたいと考えている。 提案のあったルートは、検討させていただきたい。	都市計画課	ご提案いただいたルート案について、地域公共交通会議で検討をする。
4	市独自の物価高騰対策について	国でも物価高騰対策を行っているが、市でも独自の物価高騰対策が必要だと思っている。民間企業も企業努力により、価格を抑制しているように、市独自の物価高騰対策を実施すれば、市民が助かるのではないかと考えている。	物価高対策は、国から全国の自治体に交付金が交付されている。つくばみらい市では、全市民を対象に1人あたり7,000円を給付する準備を進めており、4月に案内文書の発送を予定している。 7,000円の現金給付は、マイナンバーに口座を紐付けている方は、その口座に振り込みする。それ以外の方は、申請書を送付するので、振込先を返送してもらい、後日、指定された口座に振り込みする2つの方法がある。 現在の予定では、4月中旬に案内文書を発送する予定である。また、マイナンバーに口座が紐付けされている方の振り込みは、5月の終わりか6月頃と考えている。それ以外の方は、少し遅れて6月末頃と考えている。 市の独自の支援となると、大きな予算が必要になってくるため、現時点では、国の交付金だけで対応しようと思っている。今回の1人あたり7,000円を給付する事業で約4億円が掛かるので、市独自の支援となると、かなりの金額が必要になるのではと考えている。	企画政策課	

主なご意見（発言の一部を抜粋しております）【東地区 令和8年3月8日開催】

番号	要望・課題	内容	市民懇談会での回答	担当課	その後の対応 (令和8年4月末現在)
5	土地の寄付と道路の拡張について	道の幅員が狭いため、所有する畑に学校や幼稚園の送迎バスのタイヤがぬかるみにはまり、泥でバスが汚れてしまう。幅員を改善できるように平成23年3月頃に土地を寄付すると市に申請したが、その年に東日本大震災が発生したため、市の対応が遅れるのは仕方ないと思っていた。しかし、15年経っても、いまだ市からの返答がなく、道も改善されていない。市が対応しないのであれば、個人での対応も検討している。	現地確認をする。当時の書類を確認するが、すぐできることは対応しなければいけない。 当時の書類を確認し、地元のお話を伺いたいと思う。	建設課	担当課において、現地確認及び地元関係者にお話を伺った。 バスの通行に必要な道路幅員を確保するための業務を進めている。
6	すみれ幼稚園のAEDについて	すみれ幼稚園には園内にAEDが設置されているが、閉園のときは、使用することができない。全国的に学校前の屋外にAEDの設置を変更されているため、すみれ幼稚園のAEDを正門前などいつでも使用できる場所に移してほしい。	市役所で設置している市内の公共的なAEDは、幼稚園や小中学校などの公共施設の施設内を中心に約50か所に設置している。屋外への設置は、令和4年度から実施しており総合運動公園などにおいては完了している。他の施設でも、順次、屋外で使用できるように整備を進めていく。	防災課	
7	協議結果の公表について	この市民懇談会で、さまざまな意見が出た。市は協議すると回答しているが、協議結果は、どのような形で公表されるのか、時期はいつ頃になるのか伺いたい。	まずは、内容を担当課に共有し、担当課で対応について協議を行う。公表時期は、まずは本日の回答まで出し、その後、対応経過を取りまとめ、まとまり次第、ホームページを活用して結果を公表している。 ホームページでの公表のみでは、皆さんに伝わりにくいため、行政協力員にご協力いただければ、行政協力員から回覧をする方法で周知を図りたいと思っている。現在は、ホームページのみだが、今後、検討していきたいと考えている。 市民懇談会の回答は、2カ月後くらいには、行政協力員に結果を回答したいと思っている。それ以外の、担当課に要望した案件については、全体の把握ができていないため、各担当へ回答するように指示したいと思っている。	地域推進課	市民懇談会でのご意見を庁内全体に共有して、担当課に対応を依頼し、その後の対応や協議結果のとりまとめを行った。 市民懇談会（東地区）の「主なご意見内容・市民懇談会での回答」を一覧で整理してホームページへ掲載した。また、東地区の行政協力員・行政区代表者へ「主なご意見内容・市民懇談会での回答」を郵送することでお知らせした。 各担当課でお受けしていた要望や質問の対応状況についても確認するよう指示を行った。
8	東地区の農業委員の選出について	東地区では、農業委員の選出が2期に渡ってされていない。選出基準があると思うが、地域の代表を選出することは、必要なことであると考えているが、市の考えを伺いたい。	以前は、公選制としていたが、現在は制度が変わり、市町村長が地域の農業者や団体から推薦を求め、かつ、公募をし、議会の同意を得て任命することになっている。 つくばみらい市は、農業委員10人、農地利用最適化推進委員10人の体制であるが、東地区は農地利用最適化推進委員は1人いるが農業委員はいない。市では、農業委員会委員候補者選考委員会を設けて選考している。今回の地域性を考慮したうえで選考についてのご意見は、選考をする立場の方に引き継ぐ対応をしようと思う。 農業委員会は、独立した組織のため、市長が要望するのは不適切と考える。しかし、地域性を考慮して、選考委員に人選を進めてもらうことは、伝えていきたい。	農業委員会	令和10年度の農業委員改選に際しては、令和9年度に開催の農業委員会委員候補者選考委員会あたり、選考委員には地域性を十分に考慮した選考を進めるよう、適切に伝えることとする。
9	福岡土地改良区の水利費の滞納について	福岡土地改良区の水利費の滞納が年々増えてきている。納付のため努力しているが、強制的な執行が必要な人もいる状況になっている。しかし、福岡土地改良区単独では強制執行できない。土地収用法では、地方公共団体に収納委託をする形式がとれるようだ。過去に事例はないが、今後、協力をお願いすることがあるかもしれない。	滞納処分などは収納課が対応しているので伝えておく。	収納課	

主なご意見（発言の一部を抜粋しております）【東地区 令和8年3月8日開催】

番号	要望・課題	内容	市民懇談会での回答	担当課	その後の対応 (令和8年4月末現在)
10	ワープステーション江戸の丁字路について	ワープステーション江戸の十字路となる予定のはずだが丁字路で止まっている。市として、どのように考えているのか伺いたい。	茨城県が県の構想で龍ヶ崎市まで延伸し、鹿嶋市を目指していた。しかし、現在は、構想が無くなっている。交差点部分の隅切りは、県で用地買収が済み済み、交差点の形状になっているため、構想どおりに延伸してほしいと考えている。市として今後も県と協議していきたいと思っている。 現在、ワープステーション周辺の開発事業を進めており、三菱地所設計が採択された。これから、三菱地所設計と構想を検討する。市では、倉庫や工場だけではなく、人が集まり楽しめる施設を検討している。そのような施設ができ、人が集まれば、県に道路の必要性を訴えることができるので、そういった側面からのアプローチもきちんと努力していきたいと思っている。	建設課	歴史公園周辺の開発事業を計画通り進めている。
11	ワープステーション江戸周辺の歴史について	ワープステーション江戸周辺は、合戦があった場所となっている。これは、歴史資料からもほぼ間違いないと思っている。現在は、通れない状態になっているが、将来構想を検討する際の参考にしていただければと思っている。	合戦があった話は初めて聞いた。生涯学習課の文化振興室に情報を共有する。いつになるか分からないが、詳しい話を聞くため、連絡させてもらえればと思っている。	生涯学習課	4月24日に質問者からお話をうかがう予定であり、内容については歴史公園周辺地区基本構想を担当するプロジェクト推進課へ後日共有する。